

5 展開例

ベースボール型：ソフトボール[第1学年及び第2学年]

(1) 目標

- 場面や状況に応じた進塁打を打つことができるようにする。 (技能)
- 練習やゲームを通して、積極的にソフトボールの特性に触れて楽しもうとすることができるようにする。 (態度)
- ソフトボールの特性を理解し、自己やチームの実態に応じた作戦を用いて、守ったり攻撃したりできるようにする。 (知識, 思考・判断)

(2) 展開 (8 / 12)

過程	時配	学習内容と活動	指導・支援 (○) と評価 (☆)	用具・資料
はじめ	5分	1 ウォーミングアップを行う。 ○ランニング ○準備運動 ○補強運動	○各種運動の効果を考え、正しく行うよう促す。 ○表情や動きから、生徒個々の健康状態を把握する。	学習カード (指導資料参照)
		2 集合・整列・挨拶	○素早く整列し、元気よく挨拶させる。 ○見学者がいる場合は、可能な学習や役割等を指示する。	
本時のねらい 進塁打を意識して点数をとれるようにする				
なか	35分	3 チームのめあて、練習内容を確認する。	○各チームのめあてを、生徒全員が確認できるようにする。	プラスチックバット ソフトフォームボール (写真3参照)
		4 チーム練習を行う。 (1) ハーフバッティング (写真7参照) ・50%~80%の力で、力を抜いてスイングする。 ・1人10スイングを目安に交代する。 ・中、右、左を打ち分ける。 ・投げ手は下手でトスし、守備者は打球方向に合わせて守備位置をとる。	○打者が打ち易い所にボールをトスするよう指示をする。 ○ミートが苦手な生徒にはタイミングの取り方を工夫するように助言する。 ○ミートポイントをずらすことで打球方向が変わることを説明する。 ○攻撃中心の練習であるが、守備者は守備練習のつもりでゴロやフライを捕るよう促す。	
		(2) シートバッティング ・ランナーを想定して、右打ちやゴロ打ち、バント等の練習を行う。	○ランナーを進塁させるためには、ゴロを打つことが有効であること、打つ方向が大切であることを説明する。	
		5 ゲーム (リーグ戦) を行う。 - セルフジャッジ - 時間制 (20分 3~4回が目標)	○チームの特徴を生かして作戦を考えるよう促す。 ○ジャッジ上の疑義に対しては、教師が適切なアドバイスを与える。 ○攻守交代を早くし、テンポよく試合ができるよう指示をする。 ○ゲーム中の安全への配慮がなされているか確認する。	得点板 ベース

			<p>☆守備や攻撃の作戦についての話し合いに参加しようとしている。</p> <p>【関・意・態】④ (行動観察・学習カード)</p> <p>「努力を要する生徒」に対し、協力して学習することの大切さについて個別に話をする。</p>	
まとめ	5分	<p>6 整理運動を行う。</p> <p>7 反省とまとめを行う。 ○学習カードを用いて反省とまとめを行う。</p> <p>8 集合・整列・挨拶・次時の確認をする。 ○元氣よく挨拶をし,用具の片付けをする。</p>	<p>○巡回して体調確認をする</p> <p>☆自分やチームの実態に応じた課題を見付けている。</p> <p>【思・判】② (実技観察・学習カード)</p> <p>「努力を要する生徒」に対し、これまでの資料や仲間のアドバイスを参考に課題を再考するよう促す。</p> <p>○本時のよかった点を賞賛し、次時の活動に意欲が持てるよう助言する。</p>	<p>学習カード (指導資料参照)</p>

ベースボール型：ソフトボール[第3学年]

(1) 目標

- 守備, 打撃, 走塁などの個人的技能を身に付けることができるようにする。 (技能)
- 準備, 片付けや練習・試合に自主的に取り組もうとすることができるようにする。 (態度)
- 技術のポイントを理解し, 個人やチームの課題に応じた練習方法を選ぶことができるようにする。 (知識, 思考・判断)

(2) 展開 (4 / 20)

過程	時配	学習内容と活動	指導・支援 (○) と評価 (☆)	用具・資料
はじめ	10分	<p>1 ウォーミングアップ</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ランニング ○準備運動 ○補強運動 <p>2 集合・整列・挨拶</p> <ul style="list-style-type: none"> ○体育係を先頭にクラスごとに整列する。 	<p>○各種運動の効果を考え, 正しく行うよう促す。</p> <p>○表情や動きから, 生徒個々の健康状態を把握する。</p> <p>○素早く整列し, 元気よく挨拶させる。</p> <p>○見学者がいる場合は, 可能な学習や役割等を指示する。</p> <p>○素早く整列させ, 元気よく挨拶させる。</p> <p>☆ソフトボールの学習に関連した体力の高め方について具体例を書き出している。 【知・理】② (学習カード) 「努力を要する生徒」に対し, 資料などの重要な部分にラインを引かせるなど個別に支援する。</p>	学習カード
なか	30分	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>本時のねらい チームで練習方法を工夫して個人技能を身に付ける</p> </div> <p>3 チームのめあて, 個人のめあてと練習内容を確認する。</p> <p>4 チームで個人練習を行う。</p> <p>○予想される練習方法</p> <p>(1) 守備練習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2人一組のキャッチボール ・3人一組のキャッチボール (中継リレー) ・ゴロ, フライ捕球から送球 (2人組) <p>(2) 打撃練習 (4~6人組)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トスバッティング ・ハーフバッティング <p>(3) 走塁練習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ベースランニング ・ベースランニングリレー <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>----- 確認事項 -----</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボールをよく見る ・立つ位置を調整する ・バットを振り抜く </div>	<p>○各チームのめあてを, 生徒全員が確認できるようにする。</p> <p>○お互いに課題を意識しながら練習するよう促す。</p> <p>○ボールをうまくミートできない生徒には, タイミングの取り方を工夫するよう助言する。</p> <p>☆個人やチームの課題がわかり練習方法を工夫している。 【思・判】② (行動観察・学習カード) 「努力を要する生徒」に対し, 判断の参考になる資料を提示したり個別に説明したりして支援する。</p>	ソフトボール 用具一式 得点板

		<p>5 簡易ゲームを行う</p> <p style="text-align: center;">-----タイプブレイク方式-----</p> <p>無死1, 2塁から 投手は攻撃側から (3球以内に打つ, 打たなければバッターアウト, ファールは継続可) 捕手はつけない (後ろでボール拾い, ホームへの送球のキャッチ) W・P (ワイルド・ピッチ) はなし P・B (パス・ボール) はなし 盗塁なし バントなし フォースアウト (タッチでもよい)</p>	<p>○アウトカウントや打球の飛んだ位置に応じて走塁を工夫するよう助言する。 ○守備の際, 攻撃側の進塁や得点を防ぐために連携を意識するよう助言する。 ○攻守交代時の作戦タイムで, 必要に応じて作戦に変更を加えるよう促す。</p>	
ま と め	10 分	<p>6 整理運動を行う。</p> <p>7 反省とまとめ ○学習カードを用いて反省とまとめを行う。</p> <p>8 集合・整列・挨拶・次時の確認 ○元気に挨拶をし, 用具の片付けをする。</p>	<p>○巡回しながら, 生徒個々の健康状態を把握する。 ○本時の目標(個人やチーム)を確認してから反省するよう指示をする。 ○次時に意欲が持てるよう助言をする。 ○協力して速やかに片付けるよう促す。</p>	学習カード